

単元指導事例

8 きょう土を開く

1 小単元名「北上川のうつりかわり」

2 単元の目標

- ・ 北上川がなぜつくられたかを考え理解するとともに、当時の工事の様子や現在のある施設（北上大堰や北上川分流施設など）を調べることで、北上川が果たしている役割やそれをつくった人々の苦労や願いを理解する。

3 単元の指導計画

〔社会科 1 4 時間，総合的な学習の時間 5 時間（北上川史跡めぐり） 計 1 9 時間扱い〕

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
1	1	・ “北上川絵地図”やインターネット（かっぱクラブ, kasen.net 北上川水系, グーグルマップなど）から，上流から下流までの大まかな北上川流路や位置関係，流域の地形等を知る。	北上川で知っていることを発表させる。 （そこから授業を流すことも考える。） 大事なところは教師がプロジェクターで説明し，その後各自インターネットで調べさせる。	
2	2	・ 5 万分の 1 の地図で，学習する範囲（宮城県北）を知ったり，地図の見方を学習したりする。	県北の 5 万分の 1 の地図を見せ，北上川の学習する範囲（地域）を知らせる。 飯野川地区の地図を見せながら，5 万分の 1 の地図の見方を知らせる。 ・ 方位，地図記号，縮尺，等高線など。	
3	1	・ 大正 4 年と平成 1 5 年の 5 万分の 1 の地図の比較から北上川が改修されてきた事実とその理由について考える。 (1) 昔の北上川の流れと違うところはないか。 新北上川（柳津～飯野川間）湖沼（現在は干拓され，田んぼになっている） (2) 明治 4 3 年の洪水の被害や北上川分流施設について知る。 (3) 新北上川の開削を提唱した「岡田 勇（おかだいさみ）」について知る。	気づいたことから考えて，解決させる方法で授業を進める。なお，北上大堰の見学からも想起させて考えさせる。 児童から出ない場合は，明治 4 3 年の飯野川の洪水の写真を見せ，ヒントとする。 明治 4 3 年の洪水の被害の様子を数字を用いて知らせたり，北上川分流施設の役割等を副読本で説明したりする。 新北上川の開削を提唱した「岡田 勇（おかだいさみ）」について知らせ，その功績を話し合わせる。 「石巻市の発展につくした人々」から，岡田勇を知らせる。 今日学習したところで，分かったことや感想等を書かせる。	P 1 4 5 P 1 6 2 P 1 4 6 P 1 4 9
4	2	・ 大正・昭和以前の北上川の改修について知る。 (1) 白石宗直の改修（相模土手，お鶴明神） (2) 川村孫兵衛の改修（三川合流，水明の曲がり，その他）	「わたしたちの石巻」を読みながら進める。 相模土手の部分では，お鶴明神の話をする。〔「探検，発見ぼくらの川 北上川・鳴瀬川」(北上川下流河川事務所発行)「北上川・鳴瀬川に伝わる伝説」(33 ページ)参照〕	P 1 3 6 ～ P 1 4 4

			川村孫兵衛の改修では、三川合流を中心に知らせる。	
5	(5)	<ul style="list-style-type: none"> 北上川の改修の史跡等を見学する。(北上川史跡めぐり) (1) お鶴明神, 米谷の曲袋 (2) 旧登米高等尋常小学校(道の駅「遠山の里」) (3) 北上川分流施設, 菅原寅吉碑 (4) 三川合流(神取橋付近) 	<p>河川事務所の方に輸送, 説明をお願いする。(場合によっては, 教師が補足する形をとる。)</p> <p>休憩は登米の道の駅「遠山の里」。旧登米高等尋常小学校も少し見学する。</p> <p>5校時目に見学して分かったことをまとめさせる。</p> <p>見学の4時間と帰ってからの感想1時間を総合的な学習の時間で取る。</p>	
6	1	<ul style="list-style-type: none"> 北上川とわたし達との関連を話し合う。 (1) 自作のテキスト「北上川と飯野川地区とのかかわり」を読みながら, 昔から続いてきた北上川とのかかわりを話し合う。 (2) 現在はどんなかかわりがあるか話し合う。 	<p>自作テキスト「北上川と飯野川地区とのかかわり」を読ませる。</p> <p>テキストに出てくる写真については, プロジェクターで投影しながら説明する。</p>	
7	5	<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習や見学で分かったことを中心に, かべ新聞などを作ったり, もっと調べて見たいことを調べたりする。 	<p>学習したことのまとめの意味で, クイズ形式を取り入れるなどしたかべ新聞を作らせる。</p> <p>もっと調べて見たいことについては, 1時間程度とし, 後はまとめの新聞作りに専念させる。</p> <p>「わたしたちの石巻」やインターネット等で調べさせる。</p>	P 1 3 3 ~ P 1 4 7 P 1 4 9 P 1 6 2 等
8	1	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことをグループごとに発表する。 	<p>グループごとに, かべ新聞や実物投影カメラなども活用して発表できるようにする。</p> <p>質問を受け付け, 分かることは自分で考えて答えることができるようにする。</p>	
9	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめをする。 	<p>今までの学習を想起させる。</p> <p>分かったことや感想など, 学習したことを書かせる。</p>	